

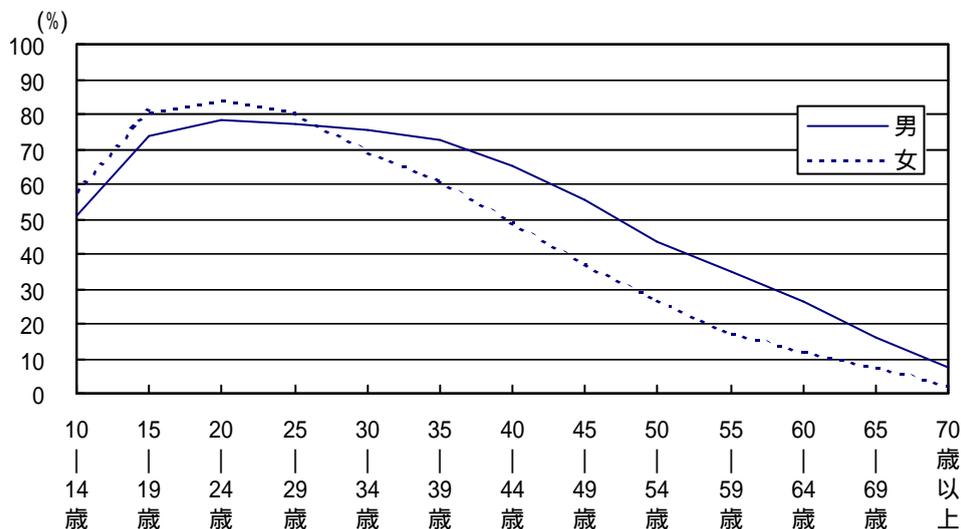
# 1 インターネット

## (1) 男性の約5割、女性の約4割の人が「インターネット」を利用

過去1年間（平成12年10月20日～13年10月19日）に「インターネット」を利用した人は5244万8千人で、10歳以上人口に占める割合（利用者率）は46.4%となっている。利用者率を男女別にみると、男性は51.5%（利用者数2835万6千人）、女性は41.5%（2409万2千人）となっており、男性が女性より10ポイント高くなっている。

「インターネット」の利用者率を年齢階級別にみると、男女とも20歳代前半で最も高くなっている。また、20歳代までの若年層では女性の方が高くなっているが、30歳代以上では、男性の方が高くなっている。（図1-1）

図1-1 男女、年齢階級別「インターネット」の利用者率



## (2) 約4割の人が「情報交換」での利用、約1割の人が「商品やサービスの予約、購入、支払い等」の利用

「インターネット」の利用者を利用の形態別にみると、電子メールなどの「情報交換」に利用した人が4465万9千人（利用者率39.5%）、ホームページの閲覧などの「情報収集」に利用した人が3662万8千人（32.4%）、ホームページの開設などの「情報発信」に利用した人が637万人（5.6%）などとなっている。（図1-2）

これを年齢階級別にみると、「情報交換」（75.2%）、「情報収集」（59.2%）とも20歳代前半が最も高くなっている。

また、「商品やサービスの予約、購入、支払い等」に利用した人は10.1%となっている。これを年齢階級別にみると、20歳代後半が21.9%で最も高くなっている。（図1-3）

図1 - 2 男女，利用の形態等別「インターネット」の利用者数

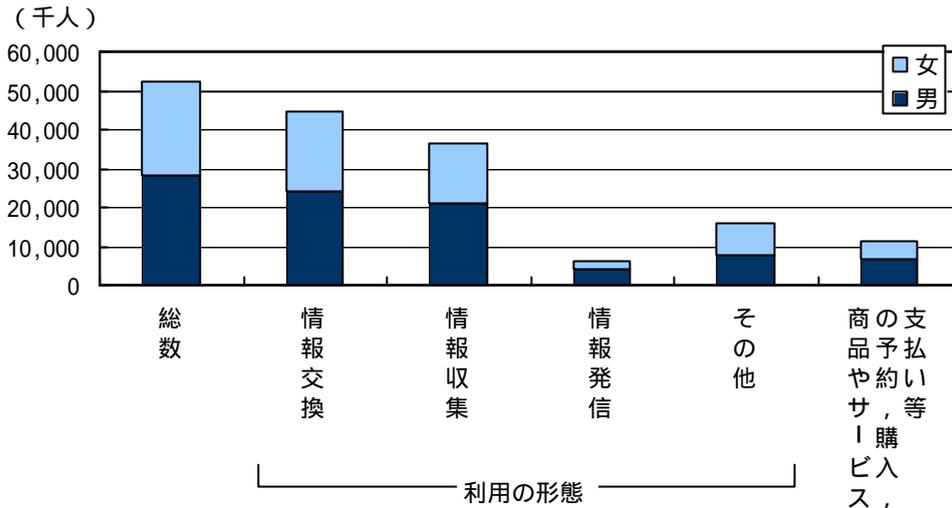
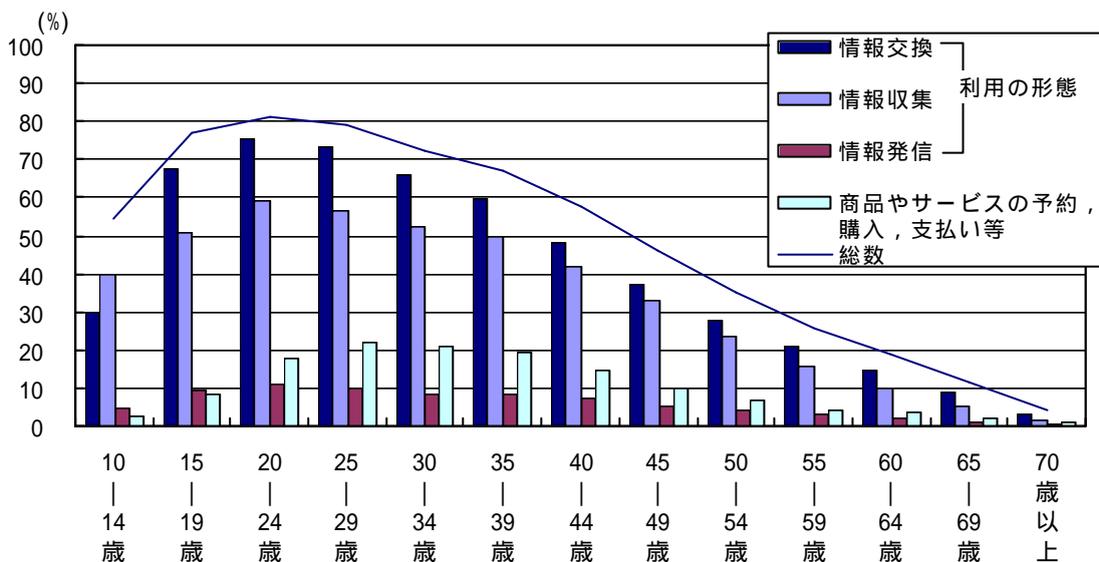


図1 - 3 年齢階級，利用の形態等別「インターネット」の利用者率



(3) 「情報交換」に「インターネット」を利用している人の半数近くが年に200日以上の利用

「インターネット」の利用頻度の構成比を利用の形態別にみると、年に200日以上利用している人は、「情報交換」(47.8%)、「情報収集」(23.9%)、「情報発信」(23.3%)とも最も高くなっている。

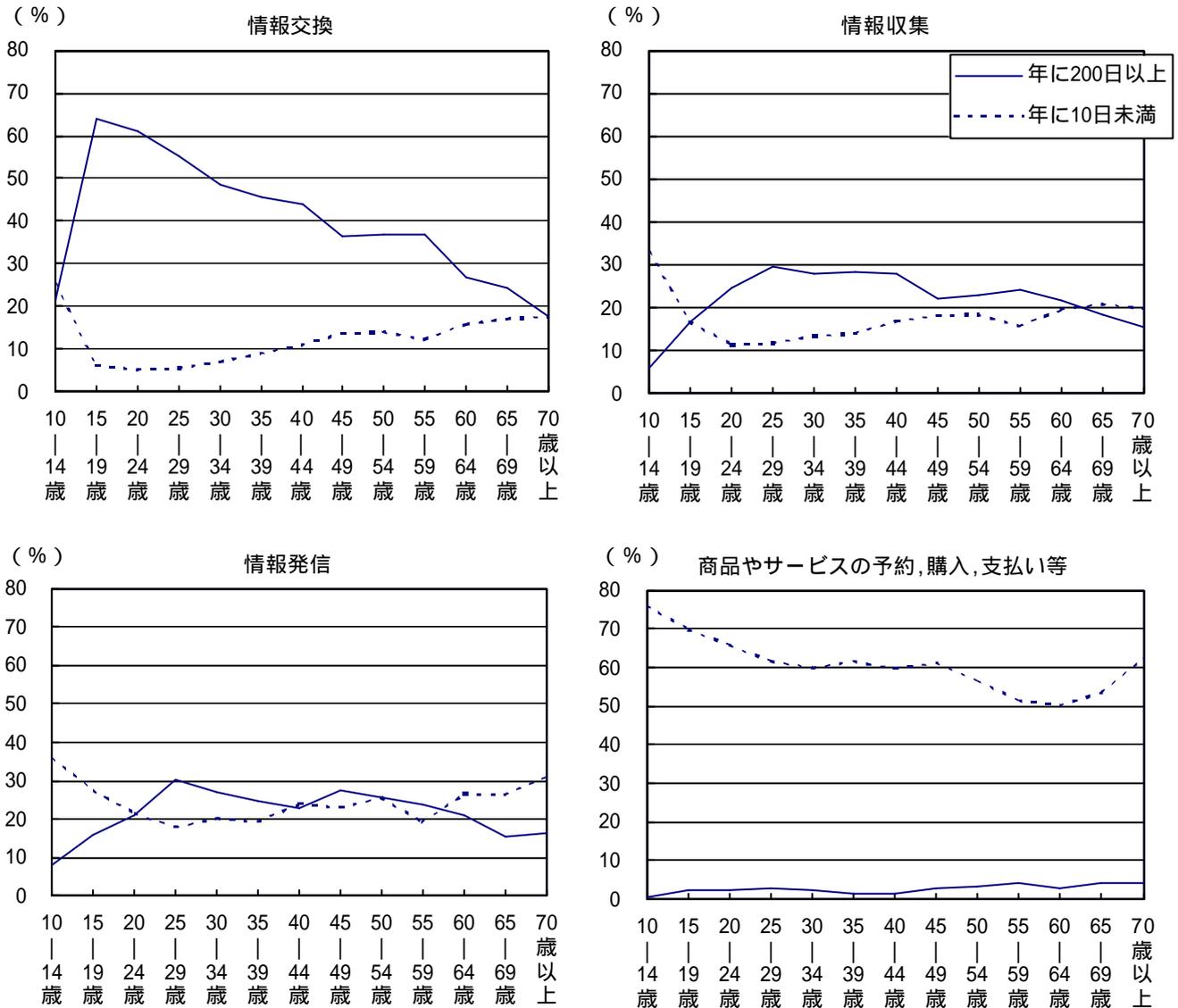
これを年齢階級別にみると、年に200日以上利用している人は、「情報交換」は10歳代後半が6割を超えて(63.9%)最も高く、「情報収集」、「情報発信」は20歳代後半がほぼ3割と最も高くなっている。

一方「商品やサービスの予約、購入、支払い等」の利用では、年に10日未満利用している人は、どの年代も最も高くなっており、10歳代前半では最も高く7割を超えている。(図1 - 4)

また、1年間の「平均利用日数」を利用の形態別にみると、「情報交換」が173.1日と最も多くなっており、次いで、「情報収集」(111.1日)、「情報発信」(102.6日)となっている。

なお、「商品やサービスの予約、購入、支払い等」の利用は20.8日となっている。

図1 - 4 年齢階級別「インターネット」を利用している人の利用頻度の構成比

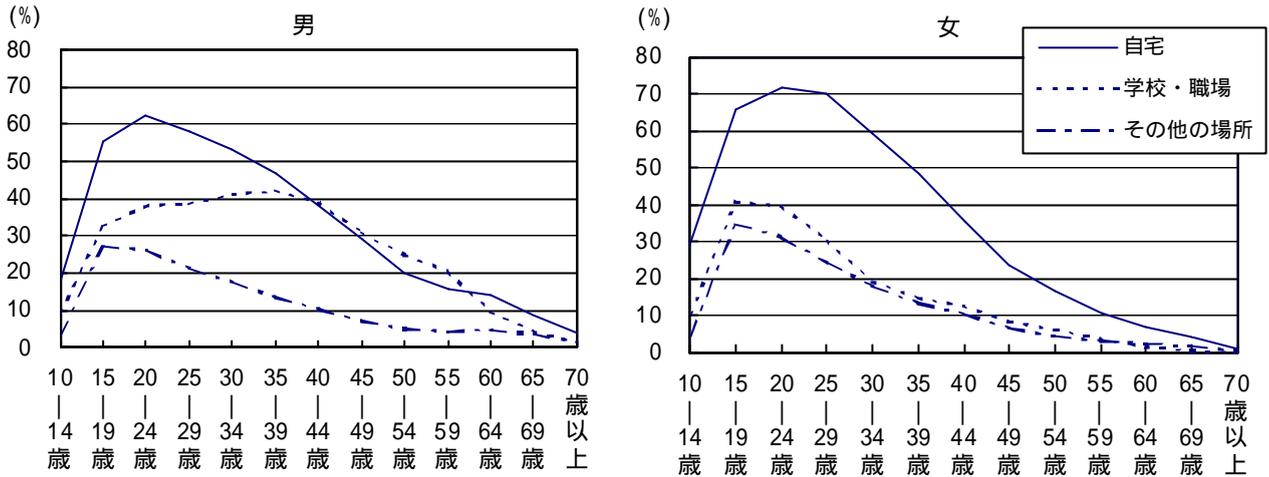


(4) 20歳代女性の約7割が「自宅」で「情報交換」に利用

「インターネット」の利用者率を利用の場所別(複数回答)にみると、「自宅」が36.4%と最も高く、「学校・職場」が24.0%、「その他の場所」が12.5%となっている。これを男女別にみると、男性は「自宅」、「学校・職場」での利用がそれぞれ3割を超え、女性は「自宅」での利用が3割を超えており、男女とも「自宅」での利用が最も高くなっている。

利用の形態のうち、利用者率が最も高い「情報交換」の利用者率を利用の場所別にみると、男女とも「自宅」が最も高い。これを年齢階級別にみると、女性は、どの年齢階級も「自宅」が最も高く、特に20歳代では7割を超えている。男性は、30歳代までは「自宅」が最も高いが、40歳代と50歳代では「学校・職場」が若干高くなっている。(図1 - 5)

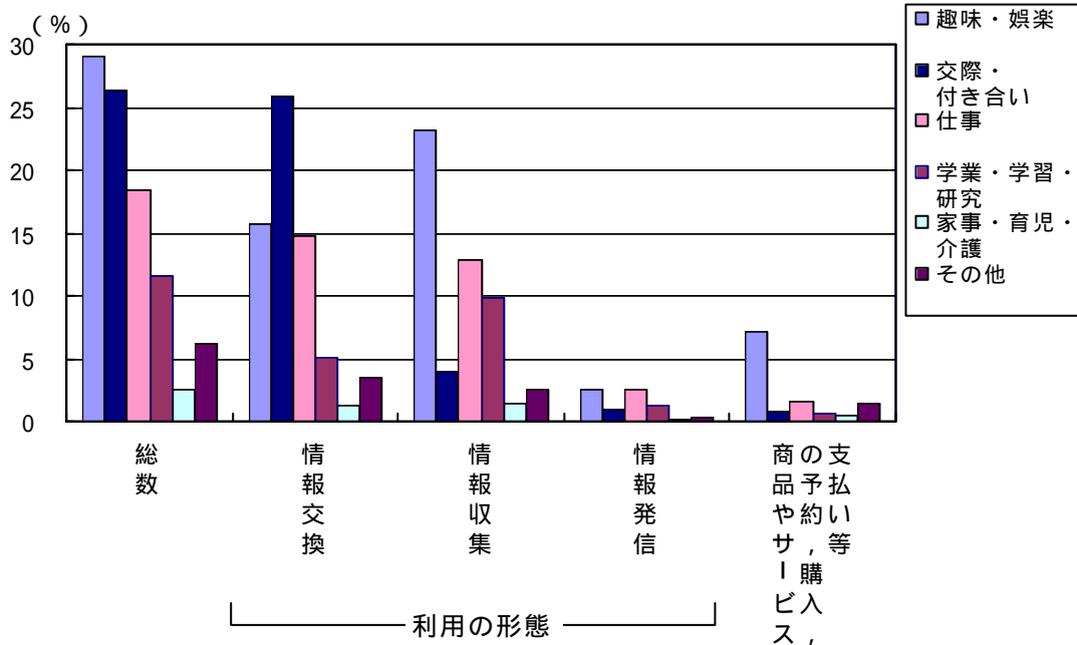
図1 - 5 年齢階級，利用の場所別「インターネット」の「情報交換」での利用者率



(5) 「情報交換」は「交際・付き合い」, 「情報収集」は「趣味・娯楽」のための利用者率が最も高い

「インターネット」の利用者率を利用の目的別（複数回答）にみると, 「趣味・娯楽」のための利用が 29.1%と最も高く, 次いで, 「交際・付き合い」が 26.3%となっている。これを利用の形態別にみると, 「情報交換」では「交際・付き合い」のための利用が 25.8%と最も高く, 「情報収集」では「趣味・娯楽」のための利用が 23.1%と最も高くなっている。(図1 - 6)

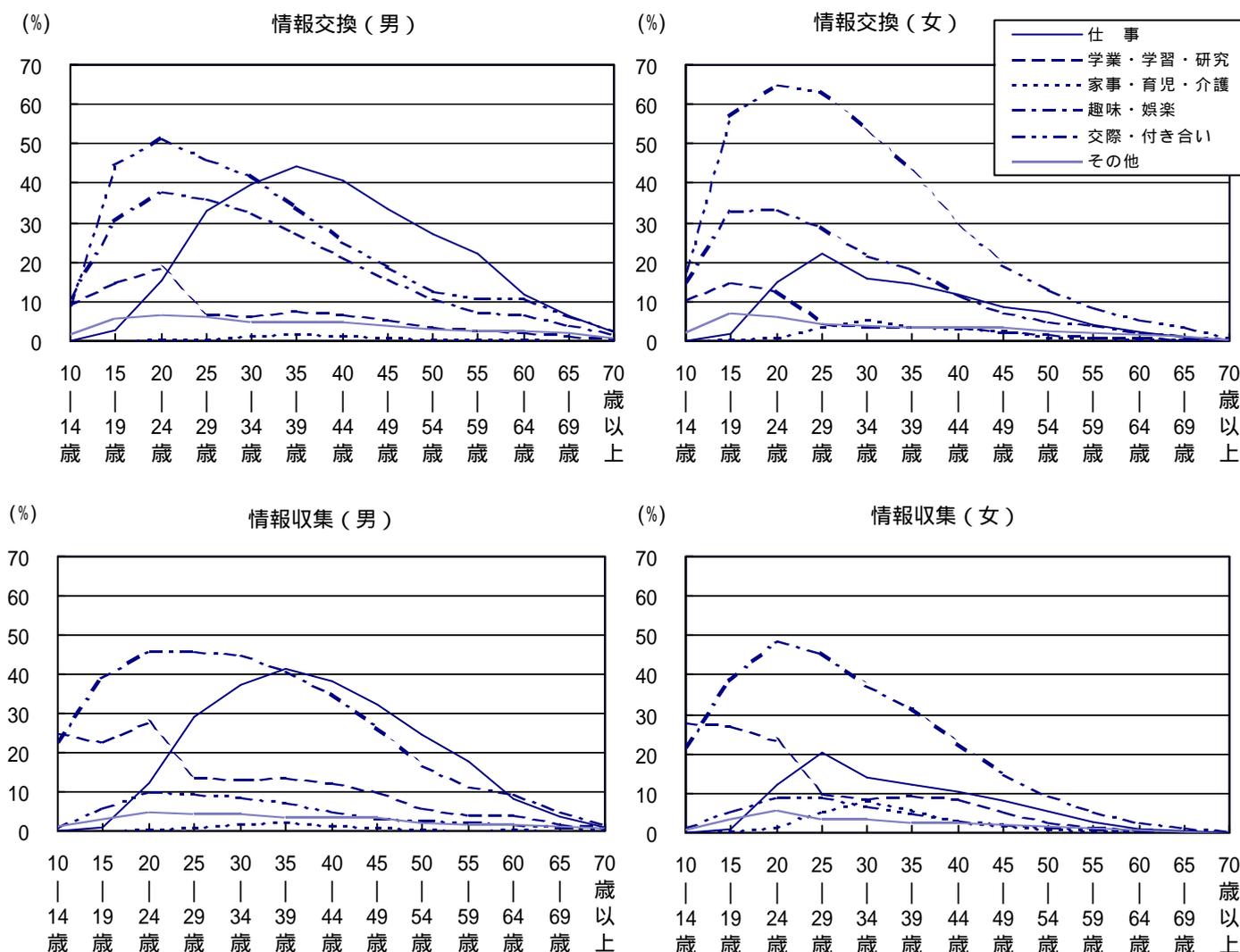
図1 - 6 利用の形態等，利用の目的別「インターネット」の利用者率



(6) 20歳代女性の6割以上が「交際・付き合い」のための「情報交換」に利用

利用の形態のうち「インターネット」の利用者率が高い「情報交換」と「情報収集」について、利用の目的を年齢階級別にみると、「情報交換」では、男女とも20歳代前半で「交際・付き合い」のための利用が最も高く、特に女性は、65.1%となっている。男性では、30歳代後半で「仕事」のための利用が最も高くなっている。「情報収集」では、男性は、「趣味・娯楽」のための利用が20歳代と30歳代は4割を超えて高く、「仕事」のための利用が30歳代前半から40歳代前半ではほぼ4割と高くなっている。一方、女性は、「趣味・娯楽」のための利用が20歳代前半で最も高くなっている。(図1-7)

図1-7 年齢階級，利用の目的別「インターネット」の利用者率



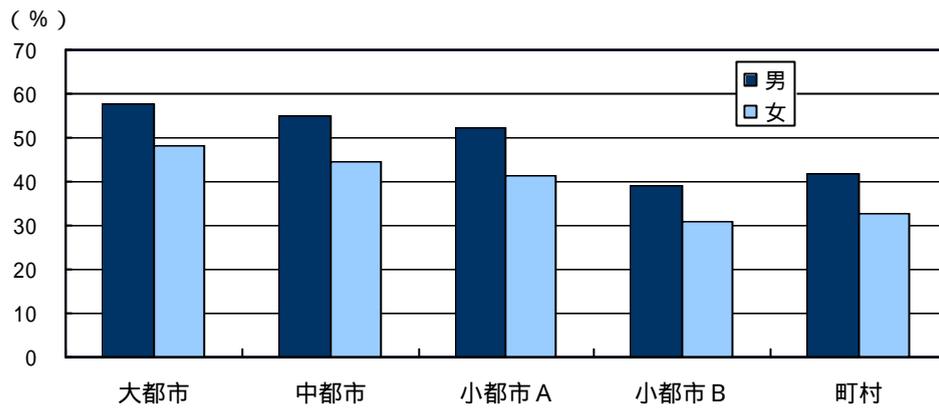
(7) 大都市で高い「インターネット」の利用者率

「インターネット」の利用者率を都市階級（人口規模）別にみると、大都市が 52.9%と最も高くなっている。

これを男女別にみると、どの都市階級も男性が女性より 10 ポイント程度高くなっている。

(図 1 - 8)

図 1 - 8 男女，都市階級別「インターネット」の利用者率



大都市 : 人口 100 万人以上の市

中都市 : 人口 15 万人以上 100 万人未満の市

小都市 A : 人口 5 万人以上 15 万人未満の市

小都市 B : 人口 5 万人未満の市

町村 : 町及び村